

報道機関各位

平成28年11月9日
室蘭開発建設部 広報官

無電柱化に関するパネル展を開催します！

～無電柱化の目的と室蘭開発建設部の取組状況等の紹介～

室蘭開発建設部では、「道路の防災性の向上」、「安全で快適な通行空間の確保」「良好な景観の形成や観光振興」の観点から、無電柱化を推進しています。

このたび、無電柱化の目的と室蘭開発建設部の取組状況等について広く紹介するため、苫小牧市役所でパネル展を行いますので、下記のとおりお知らせします。

記

- 開催期間 平成28年11月10日（木）10：00から
平成28年11月18日（金）16：00まで
- 開催場所 苫小牧市役所 2F市民ギャラリー（別紙1参照）
（苫小牧市旭町4丁目5番6号）
※開放時間8：45～17：15
- 内 容 無電柱化の目的や室蘭開発建設部の取組状況等についてパネルで紹介
します。（別紙2参照）

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部
道路計画課 課長 鈴木 武彦 電話 0143-25-7046（内線 351）
道路計画課 課長補佐 福原 潤二 電話 0143-25-7046（内線 352）

室蘭開発建設部ホームページアドレス <http://www.mr.hkd.mlit.go.jp/>

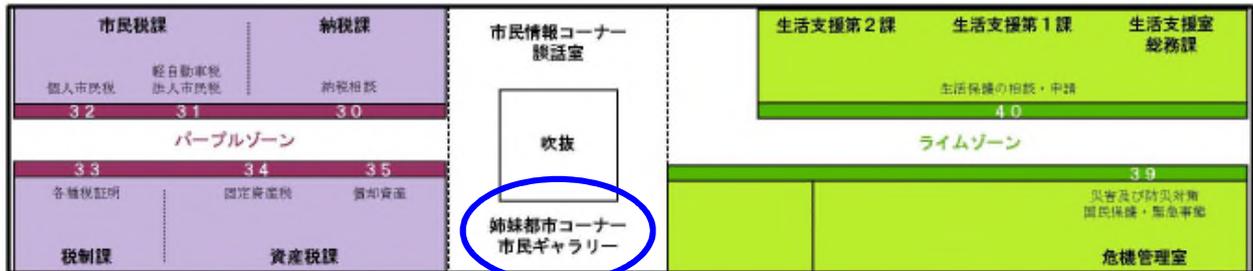
苫小牧市役所 パネル展示場所



至 白老町

パネル展示場所
 苫小牧市役所 2 F 市民ギャラリー
 (苫小牧市旭町4丁目5番6号)

2階



パネル展示場所

展示パネルの一例

災害時も通れる防災性が高い道路に

大規模災害等では、電柱が倒壊し緊急活動や輸送に支障となりますが、無電柱化をすることで電柱の倒壊が防げ、道路の防災性が向上します。また、通信・電力の防災性も無電柱化によって高まります。

近年の大規模災害における電柱倒壊状況

災害	年月	名称	電柱の倒壊状況
地震	1995年1月	阪神淡路大震災 (兵庫県南部地震)	電力:約4,500基※1 通信:約3,600基※2 ※1「地震に強い電柱設備のために」 ※2「IT77調査」
台風	2003年9月	台風14号	宮古島市全体:電柱800本※1 ※1 沖縄電力調べ
津波	2011年3月	東日本大震災 (東北地方太平洋沖地震)	電力:約28,000基※1 通信:約28,000基※2 ※1 総務省調べ※1P ※2 IT77調査

出典:国土交通省HP

阪神・淡路大震災



出典:国土交通省HP

東日本大震災



出典:国土交通省HP

阪神・淡路大震災、東日本大震災での通信・電力の被災状況

心構	通信/電力	被災率(被災率)		比率
		地中線	露出線	
阪神・淡路大震災	通信	0.03%	2.4%	1/80
	電力	4.7%	10.3%	1/2
東日本大震災	通信	地中化エリア : 0.0%	地中化エリア : 0.0%	1/25
		露出化エリア : 0.1%	露出化エリア : 0.9%	
	電力	地中化エリア : 0.3%	露出化エリア : 7.9%	-
		(データなし)	(データなし)	-

※地中線=地中に埋設した線 ※露出線=空中に揺られている線 出典:国土交通省HP

電柱はどうやって無くなるの？

電柱を道路上から無くすには、主に3つの方法があります。

①電線共同溝による方法

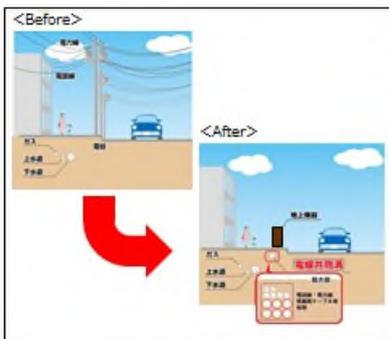
地下に埋設した電力管や通信管を活用して、電線などを地中にまとめる手法です。

②裏配線による方法

無電柱化したい通りの裏側に電線類を廻して配置することで無電柱化する手法です。

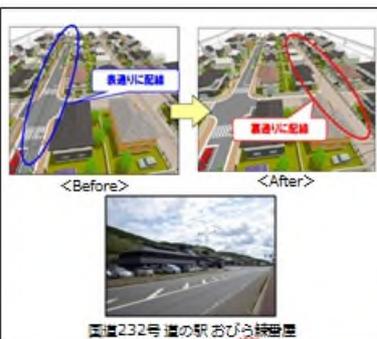
③軒下配線による方法

無電柱化したい通りの脇道に電柱を配置し電線を家屋の軒下や軒先に配置する手法です。

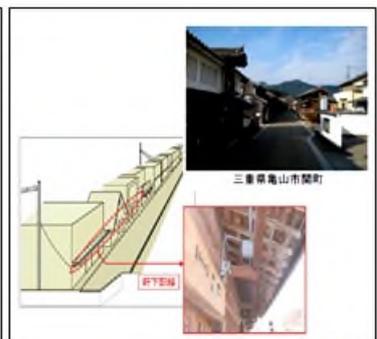


出典:国土交通省HP

※地上機器=電力供給に関する制御装置(トランス等)を収納する機器



国道232号道の駅おびら緑豊



出典:国土交通省HP